

①施策の目的等

施策の名称	施策4 迅速に活動できる組織の運営
目的	時代の変化に迅速に対応できる柔軟で活動的な組織の構築に向け、民間の知恵や経験も取り入れるなど不断の見直しを行うとともに、職員の資質の一層の向上を図ることにより、効率的な行政運営を図る。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
	目標値	/							目標値	/						
	取組目標値	/							取組目標値	/						
	実績値								実績値							
	達成率	/					%		達成率	/						%
	目標値	/							目標値	/						
	取組目標値	/							取組目標値	/						
	実績値								実績値							
	達成率	/					%		達成率	/					%	
定性目標	平成24年度～平成27年度															
	①組織体制については、時代の変化に対応した簡素で効率的な体制となるよう、適宜柔軟に見直す。 ②職員の育成については、一人ひとりの能力開発を進め「県を取り巻く情勢や県民の声に敏感で」「よく考え、よく議論し、創造し」「何事にもチャレンジ精神を持って取り組む」姿勢を育てる。															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	○喫緊の行政課題に対応するため、農畜産振興課、食料安全推進課の農産園芸課と畜産課への改組や子供子育て支援室や建築物安全推進室の設置などの所要の組織改正を行い、時代の変化に迅速に対応できる組織の構築に取り組んだ。 ○各職場の所属長、人材育成推進員を核とした職場研修を中心に、職員一人ひとりの資質向上、風通しのよい職場環境づくりや、NPO法人等との相互理解への取り組みを行った。															

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> 必要な行政需要に対し、機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築に取り組んでいる。 【平成27年4月1日の主要組織改正概要】 1 課の再編：農畜産振興課、食料安全推進課を農産園芸課と畜産課に改組 2 課内室の新設：子ども・子育て支援室（少子化対策推進室の改組）、建築物安全推進室 ・研修に参加しやすい職場づくりについては、「風通しのよい職場環境づくり」への取組みや自治研修所からの研修受講への働きかけなどを継続して実施している。 ・人材の育成については、人材育成基本方針（H19.12策定）等に基づいた各種研修の実施や職場環境づくり等に継続して取り組んでいる。
---	---

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価	判断	その理由
A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいるが見直す点もある C:あまり順調に進んでいない	A	組織体制について、時代の変化に対応した簡素で効率的な体制となるよう柔軟な見直しを実施した。また職員一人ひとりの能力開発と一層の資質向上を図った。

⑤課題の認識

(1)平成27年度末の施策目的の達成状況（予測）	判断	その理由（「総合的な評価」の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	A	組織体制の柔軟な見直しと職員の一層の資質向上に向けた取り組みを引き続き実施する。
(2)施策の目的達成に向けての課題		<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済情勢の変化や多様化・高度化する県民ニーズに的確に対応することができる組織体制となるように、常に見直す必要がある。 ・職場研修の充実、職員一人ひとりの意識改革、風通しの良い職場環境づくりに向けた更なる取り組みが必要。 ・一層の効果的・効率的な研修の企画・実施、研修に参加しやすい職場環境づくりを進めていく必要がある。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、必要な行政需要に対して機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築を図る。 ・自治研修所研修について、社会情勢の把握やアンケート調査などを通じ、更なる効果的・効果的な研修の企画・実施を図る。 ・求められる人材、職員像、育成方法等について、現状分析、議論を行い、効果的な取組みを着実かつ継続的に実施する。 ・人材育成の重要なツールである人事評価制度について、地方公務員法の改正の趣旨にそった見直しのほか、今後の人材育成に向けて人事評価制度をどう活用していくのか検討する。
---------------------	--